

令和元年度かいぼり結果概要報告【府中の森公園：庭園東池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 12月 1日

【天候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア 14人・関係者約 20人

2. 結果概要

【水質】 COD、BOD、T-N、T-P、SS はかいぼり直後に一番値が低く、かいぼり後は、BODを除いてかいぼり前より値が高くなりました。かいぼり前・後を比較すると COD、BOD、T-N、T-P、SS は値が低くなっており、T-N、T-P、SS はかいぼり前のほぼ半分となりました。かいぼり直後は、池水の入れ替えや泥土の搬出により、栄養塩が減少し水中の懸濁物質が減少し、その後、流入水の水質や池の環境により、次第に富栄養化が進んでいることが考えられます。

【水生生物】 生物捕獲によりアメリカザリガニなどの外来種の数減らすことができ、在来種の生息環境が改善されたと考えられます。ただし、アメリカザリガニなどの外来種の生息がモニタリング調査で再び確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.8.8	R2.1.20	R2.8.3
天候		晴	晴	晴
気温	°C	35.0	10.0	32.5
水温	°C	34	6.8	30
透視度	cm	12	38	15
ORP(酸化還元電位)	mV	+197	+132	+319
pH(水素イオン指数)		8.5	7.8	8.7
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	31	13	20
BOD(生物学的酸素消費量)	mg/L	12	6.2	5.1
T-N(全窒素)	mg/L	3.47	1.16	1.52
T-P(全リン)	mg/L	0.234	0.092	0.127
DO(溶存酸素)	mg/L	10.7	12.3	9.8
SS(浮遊物質)	mg/L	60	9	31

捕獲した生物と個体数

和名	令和元年		令和2年度	重要種		外来種 注3
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020) 注1	東京都RDB (2013) 注2	
	R1.7.23	R1.12.1	R2.7.24		北多摩	
モノアラガイ科			3			
サカマキガイ	1		20			○
チョウ		5				
カワリヌマエビ属	69	154	652			○
アメリカザリガニ	21	86	173			○
キンギョ		1				○
コイ(飼育型)	2	228				○
フナ属の一種		2				
ドジョウ		4			NT	

水生昆虫を除く/かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト 2020 ※2 レッドデータブック東京 2013
※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

